

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2003-132929 (P2003-132929A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 9 日 (2003.5.9)
 【出願番号】特願 2001-325756 (P2001-325756)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 M 8/06
 B 6 0 K 1/04
 B 6 0 L 11/18
 H 0 1 M 8/00
 H 0 1 M 8/04
 // H 0 1 M 8/10

【F I】

H 0 1 M	8/06	R
B 6 0 K	1/04	Z
B 6 0 L	11/18	G
H 0 1 M	8/00	Z
H 0 1 M	8/04	P
H 0 1 M	8/10	

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 25 日 (2004.8.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

燃料電池車両に搭載された水素貯蔵容器と、該水素貯蔵容器から燃料電池に水素を供給可能にする水素供給流路とを備えた燃料電池用の水素供給装置において、

前記水素供給流路と並列して水素を前記燃料電池へ供給するバイパス流路と、

前記バイパス流路に備えられ、かつ、水素透過膜を含み、該水素透過膜を透過した水素を前記燃料電池へ供給し、透過しなかった水素を排出する水素分離器と、

前記水素供給流路と前記バイパス流路とを選択的に切り替える切替手段を備えたことを特徴とする燃料電池用の水素供給装置。

【請求項 2】

前記燃料電池へ供給する水素の濃度を検知する水素濃度検知手段を備え、水素中の水素濃度が所定濃度よりも低いと判定したときは、前記バイパス流路を介して前記燃料電池へ水素を供給するように前記切替手段を切り替えることを特徴とする請求項 1 に記載の燃料電池用の水素供給装置。

【請求項 3】

前記水素濃度検知手段は、前記燃料電池の発電電流に対する起電力を検知し、前記起電力が通常の場合と比較して低い場合は、水素中の水素濃度が所定濃度よりも低いと判定することを特徴とする請求項 2 に記載の燃料電池用の水素供給装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するためになされた請求項 1 に記載された燃料電池用の水素供給装置は、燃料電池車両に搭載された水素貯蔵容器と、該水素貯蔵容器から燃料電池に水素を供給可能にする水素供給流路とを備えた燃料電池用の水素供給装置において、前記水素供給流路と並列して水素を前記燃料電池へ供給するバイパス流路と、前記バイパス流路に備えられ、かつ、水素透過膜を含み、該水素透過膜を透過した水素を前記燃料電池へ供給し、透過しなかった水素を排出する水素分離器と、前記水素供給流路と前記バイパス流路とを選択的に切り替える切替手段を備えたことを特徴とするものである。